



ご挨拶 委員長 西田順子

新年あけましておめでとうございます。

昨年4月に委員長の大任をお引き受けし、緊張の中出発いたしました。

7月には75周年の記念行事、10月は敬老福祉の集い、11月は久しぶりの秋季研修、その他の奉仕活動も無事に執り行うことができましたのも、奉仕団員はじめ関係の皆様方のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

昨年度に引き続き、武蔵野市では、様々な計画の見直しや策定が行われております。奉仕団も数年来の課題である担い手の不足や、災害時に重要な共助の浸透のため、例えばパラリンピックで注目されたボッチャ競技などを通して、地域住民の絆作りに尽力していきたいと考えています。

さて、昨年発行された新札の肖像画となった3人と日本赤十字社との関りをご存知でしょうか。一万円札の渋沢栄一は日本赤十字社の前身・博愛社の創設者佐野常民が直接協力依頼をし、明治13年社員に加入、現在の理事にあたる常議員になっています。五千円札の津田梅子が設立した女子英学塾（現津田塾大学）は、日本赤十字社の看護学生が英語を学ぶ学校に指定されていました。さらに千円札の北里柴三郎は、日本赤十字社から依頼を受け「肺結核病の注意書」を監修し、その英語版は赤十字国際会議で配布されました（資料東京都日赤紺綬有功会発行「紺綬 Vol.63」）。

改めて赤十字の博愛の理念や奉仕活動、そして武蔵野市赤十字奉仕団の75年にわたる歴史と伝統を顧みたと、諸先輩の後に続き、世界の平和や地域の福祉向上に少しでも貢献できることを誇りに思います。

今後とも皆様のお力をお借りし「笑顔で楽しい奉仕活動」を進めて参りますので、何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



左から 秋本副委員長、平副委員長、西田委員長、大谷副委員長

武蔵野市赤十字奉仕団の活動

Topix

武蔵野市赤十字奉仕団結成 75 周年記念事業



令和6年7月11日に、結成75周年を迎えることを記念して、パネル展示と親睦ボッチャ大会を開催しました。

○パネル展示

7月9日(火)～12日(金)に市役所1階ロビーにおいて、奉仕団の概要やあゆみ、年表、活動写真、各分団の寄せ書き等のパネルの展示が行われました。

また、「災害時非常用トイレをつくってみよう」コーナーも設置しました。

○親睦ポッチャ大会

7月11日(木)に武蔵野総合体育館サブアリーナで行われました。

ポッチャはヨーロッパで始まり、パラリンピックでの選手の活躍も記憶に新しいところですが、誰でもできる一般のスポーツとしても広がっています。参加者34名で6チームに分かれてリーグ戦で行われました。

最初は不慣れだったメンバーもルールが分かってくるとプレーにも熱が入り、盛り上がってゲームを楽しみました。



短期救急法講習会

令和6年3月6日(水)、短期救急法講習会に延べ41名が参加しました。

一番記憶に残るのは、三角巾の活用法です。久々だったので、三角巾の使い方を結構忘れていましたが、二人一組になって、お互いの腕や頭部への結び方を練習しました。

日常ではあまり使わないので、すぐに忘れてしまいますね。このような支援活動に必要な知識と技術を学ぶプログラムがたくさん用意されているので、積極的に参加することが大切なことだと思います。



講師(都支部派遣)の方から、災害への備えや能登半島地震被災地の話も伺いました。

世界赤十字デー記念街頭キャンペーン



寄附金額 4,184,112円(12月時点)

5月1日は日本赤十字社の創立記念日。そして、赤十字の創設者アンリー・デュナン生誕の日、5月8日は『世界赤十字デー』に制定されています。

この日市内3駅(吉祥寺、三鷹、武蔵境)において、日本赤十字社東京都支部武蔵野市地区長(武蔵野市長)とともに、奉仕団員40名が、道行く人々に赤十字のことを知って関心を持っていただくよう、呼びかけを行いました。

毎年5月は赤十字運動月間です。国内外での支援活動には多くの方々からのご寄付や赤十字ボランティアの力が不可欠です。そこで、市内各地域では、活動資金にご協力いただくための募金活動を行い、温かいお気持ちを寄せていただきました。



【団員募集中】

いっしょにボランティア活動をしてくださる方ご連絡ください!!

【お問合せ】 武蔵野市 健康福祉部地域支援課 Tel: 0422-60-1941



はらっぱ水防・防災フェスタむさしの

5月11日（土）武蔵野中央公園にて「はらっぱ水防・防災フェスタむさしの2024」が開催され、自衛隊の方々によるカレーと共に奉仕団で炊き出しをしたアルファ米※1が振舞われました。

はらっぱ防災フェスタは例年8月に行われていましたが、今年度は暑さを避け、例年5月に実施している水防訓練と統合して、この時期の開催となりました。毎年、大勢の親子連れの皆様に楽しんで頂けるイベントに、スタッフとして参加し、様々な方たちと直接ふれ合える楽しいひとときでした。

奉仕団員17名が参加し、無事1000食を市民の方々に提供できました。



武蔵野市給食・食育振興財団が桜堤調理場で炊いたお米もいっしょに配膳されました。

敬老福祉の集い

10月2日（水）・3日（木）に市民文化会館において、午前・午後の4回に分けて開催されました。

最初に小美濃武蔵野市長、武蔵野市赤十字奉仕団の西田委員長と来賓の落合武蔵野市議会議長のご挨拶がありました。



敬老福祉の集いは毎年主催武蔵野市、後援武蔵野市赤十字奉仕団で行われています。



今年のコンサートは松崎しげるさん。ラテンの曲を始め、ご自分の持ち歌などを熱唱され、楽しいトークと共に大変盛り上がりしました。

今年も皆様から「とても楽しかった」というお声を沢山いただき、楽しい時間を過ごすことができました。

<その他の活動>

- ☆5日間/年 市役所庁内での献血に協力
- ☆R6.1/10～12 市民社協・能登半島地震災害義援金街頭募金に協力（市内3駅）
- ☆5/30 日赤支部・「赤十字クリーンプロジェクト」統一行動（赤十字病院周辺）に参加
- ☆6/30 市民社協・セタのつどいに協力（市民文化会館）
- ☆7/20 社会を明るくする運動駅頭PRに協力（市内3駅）
- ☆10～11月 赤い羽根共同募金 ちらし配付、10/9 街頭募金協力（市内3駅）
- ☆10/19 あったかまつりに協力（エコreゾート）
- ☆10/20 武蔵野市総合防災訓練参加（三小）
- ☆11/14 武蔵野赤十字保育園ハイゼックス※2指導
- ☆11/20 秋季バス研修（日赤本社、東京都赤十字血液センター）
- ☆12月 歳末たすけあい地域福祉活動募金に協力 他

<令和6年度 奉仕活動>

奉仕先	内 容
献血ルーム吉祥寺 タキオン	原則週4回、 午前・午後
赤十字子供の家	そうきん、台布巾の 製作

【発行】武蔵野市赤十字奉仕団
広報委員会（◎委員長）
◎木下 亜利、高橋 多寿子、小林 敦子、
塩飽 洋子、押元 綾子、麻生 日佐子

※1 アルファ米：炊き立てご飯を急速乾燥したもの。

※2 ハイゼックス：耐熱・耐衝撃にすぐれた袋に食材を入れて、釜のお湯等で加熱する炊飯。災害時の炊き出し方法の一つ。

赤十字は世界中に あなたのそばにも

- 赤十字は、人の命を守り、苦痛を予防し軽減することを目的とした民間団体です。
国籍・人種・宗教の区別なく災害や紛争被災者へ支援を行います。
 - 世界 191 の国と地域にある世界最大の人道機関です(2024 年 11 月現在)。
 - 「人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性」という 7 原則のもとに、活動しています。
 - ボランティアを中心とした団体です。医師・看護師をはじめ多くの医療専門職員などが携わる一方、その誕生以来常にボランティアを中心にして組織が作られており
- ## ボランティアは赤十字を支える大きな柱の一つです。

- 活動を支えているのは、会費や寄付金です。



赤十字の誕生

19 世紀、アンリー・デュナンが提唱した「人の命を尊重し、苦しみの中にいる者は、敵味方の区別なく救う」という考えのもとに設立。

デュナンは、第 1 回ノーベル平和賞を受賞しました。

日本の赤十字社の誕生

1877 (明治 10) 年の西南戦争のさなか設立された「博愛社」という救護団体がもともになっています。日本政府のジュネーブ条約加盟の翌年、1887 (明治 20) 年に世界で 19 番目の赤十字社として加盟が承認されました。



日本赤十字社東京都支部



1887 年に全国 47 都道府県支部の一つとして誕生しました。
災害救護活動、救急法などの講習事業、ボランティア活動、青少年赤十字活動、国際救援・開発協力、国際人道法普及などを実施。



武蔵野市赤十字奉仕団

武蔵野市赤十字奉仕団・組織図



武蔵野市赤十字奉仕団は、1949 年 (昭和 24 年) に地域奉仕団として結成されました。

奉仕団の活動内容

- 赤十字会員募集 (赤十字活動資金募集)
- 災害救護活動にそなえて市が主催する防災訓練などに参加
- 地域の福祉活動に参加協力
- 献血推進のため、吉祥寺献血ルーム「タキオン」において献血の呼びかけ
- 社会福祉施設などでの奉仕活動
- 赤十字救急法などの講習参加 など



武蔵野市赤十字奉仕団事務局

武蔵野市 健康福祉部地域支援課 Tel : 0422-60-1941 Fax : 0422-51-9218